

バリアフリー整備・徴収計画

鉄軌道事業者名	京阪電気鉄道株式会社
---------	------------

整備方針	
全期間 (2021～2025年度)	京阪線全駅（60駅）において、ホームドアの設置ならびにエレベーターをはじめとするバリアフリー設備の設置・改良および更新を実施する。

料金額				
券種	定期外		定期券	
	普通券 (磁気券)	普通券 (IC)	通勤定期券	通学定期券
設定額 (円)	10	10	※1	-
年間徴収額 (百万円)	1,060		440	
料金徴収 対象駅	京阪線全駅（60駅）※詳細は別紙による			
備考	※1：1カ月：370円、3カ月：1,050円または1,060円、6カ月：1,990円または2,000円 ※2：回数券、団体券、貸切券、企画乗車券を含む 鉄道駅バリアフリー料金を加算した運賃に関する詳細は、別途周知する。			

年間徴収額	1,500 百万円
徴収期間	3 年間（2023.4.1～2026.3.31）※2026年度以降の継続について検討予定
総徴収額	4,500 百万円
総整備費	5,995 百万円（2021.4.1～2026.3.31）※2026年度以降の継続について検討予定

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2021.4～2026.3）

整備内容		
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	4 駅 8 番線	2,927 百万円
車両のフリースペース	6 編成 44 両	74 百万円
その他 ※1	4 駅	97 百万円
その他 ※2	60 駅	200 百万円
備考	※1_列車接近表示・行先表示器 ※2_テレビ電話機能付きインターホン	
(2) 更新費（附帯費用含む）		
① 設備更新		
設備名	整備数	整備費
エレベーター	3 駅 6 基	150 百万円
その他 ※3	4 駅	138 百万円
その他 ※4	60 駅	408 百万円
その他 ※5	60 駅	133 百万円
備考	※3_列車接近表示・行先表示器 ※4_駅放送システム ※5_運行情報配信システム（旅客案内ディスプレイ）	
② 車両更新		
路線名	整備数	整備費
京阪線	2 編成 12 両	951 百万円
ホームドア整備等 との一体性について	車両形式により、扉の枚数や位置が異なることから、ホームドア整備に当たっては車両の更新が併せて必要であるため。	
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		
維持管理費（附帯費用含む）	517 百万円	
収受システム改修費	300 百万円	
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）	100 百万円	
備考	※2026年度以降の本制度活用の継続について検討予定のため、本制度終了後に必要となる収受システム改修費及びその他費用について、本様式には計上していない。	

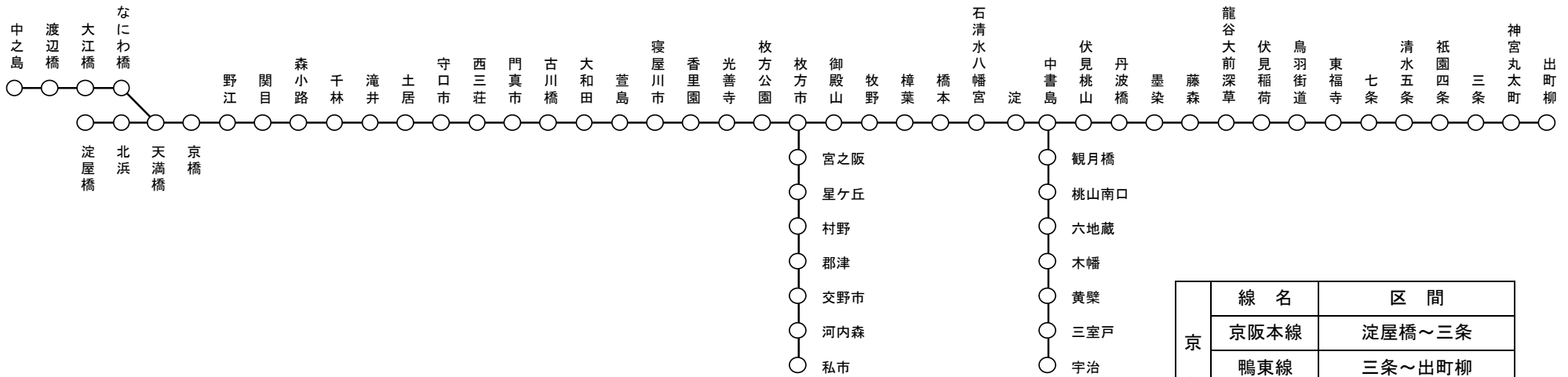
※ 整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

※ 整備費：計画期間内に整備する設備の費用

計画期間内の整備費（(1)～(3)の合計）	5,995 百万円
-----------------------	-----------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	8 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

《京阪線全線》



	線名	区間
京阪線	京阪本線	淀屋橋～三条
	鴨東線	三条～出町柳
	中之島線	天満橋～中之島
	交野線	枚方市～私市
	宇治線	中書島～宇治